

令和7年度 4歳児 「こま回し」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を~~囲み文字~~にて示す。)

1. 期間 1月下旬～3月

2. 設定の理由

1学期には、園庭で思い切り走ったり、固定遊具で遊んだり、大型積み木を並べたり、木登りをしたりして、様々に体を動かすことを楽しんできている。その中で、固定遊具の高いところに登りたい、木登りで上まで登りたいなど、少し難しいことに向けて、できるようになりたいと思い、繰り返し取り組む姿も見られるようになってきている。また、~~氷鬼ケイドロ~~などの鬼ごっこで、追いかけて追いかけられたりして友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じたり、勝ち負けがあることで、勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちを友達と一緒に感じたりする経験をしてきている。

また、運動会では、~~リズム表現では全身を使ってなりきったり友達と一緒に表現したりする楽しさや、物語の展開を考える世界観を作る面白さを感じた。また、玉入れでは玉を入りたい、速く走りたい、技を決めたいなど~~具体的な目的をもち、考えたり試したりして繰り返し取り組む中で、できるようになったり、前よりも上手になったりしたことを嬉しいと思ったり、自信をもったりした。また、投げたり走ったりすることが得意な友達の個性や素敵などころに気付いたり、チームが勝てるようにどうしたらいいか考えたりして、思い付いたことを~~しようとするしたり友達に伝えようとしたりしようとするような姿も見られている。~~

~~このような経験をしてきた4歳児の子ども達に、運動会のご褒美としてこまを渡し、取り組んでいくこととする。以上のような姿から、少し難しいことに向けてできるようになるために繰り返し取り組んだり、できたことを嬉しいと思ったり、自信をもったり、どうしたらよくなるか考えたり、保護者や友達と教え合ったりする経験を得ることが期待できるひもごま回しを計画する。クリスマスプレゼントにこまを渡すことにする。~~

手回しごまは3歳児2学期末にもらい、経験をしているが、園において紐ごまに触れた経験のある子どもはほとんどいない。機会はない。すぐに紐が巻けたり、こまが投げられたりするわけではないので、ひもを巻いたりこまを回したりできるようになるまでに時間や労力をかけることとなる。その中で、回せるようになりたいと思って回せるようになるまで繰り返し挑戦したり、友達や保護者に紐の巻き方やこまの投げ方を教えてもらって、保護者や友達の優しさを感じたり、コツを掴んで回したり難しい技をしたり挑戦したりする姿を素敵だと思ったり、巻き方や投げ方、足の開き方などコツをつかんだりしていく。また、最初はなかなかできなくてやっとできるようになったという過程は、できた時に大きな自信へつながるものとなる~~と考える。~~

こま回しでは、一人に一つ以上自分のこまがあり、いつでも手にとって遊べる環境にある。そのため、紐が巻けるようになりたい、こまを回したいなど具体的な目標をもっていつでも挑戦できる。しかし、~~こま回しは、~~それぞれでコツをつかむまでの時間や練習時間も違うので回せるまでに個人差が出る。そこで、人と比べるのではなく、前の自分と比べてできるようになったということを自覚し、自信をもってほしいと考える。そして、回せたら終わりではなく~~で~~、友達や教師より長い時間回す、犬の散歩や手のせ、狭い台の上で回すなどいろいろな技に挑戦するなど、一人一人の段階や興味に合わせて目標をもち、挑戦し続けられる環境を作っていきたい。

3. ねらい(思考に関わる資質・能力が発揮・伸長されることを想定している部分を下線で示す)

① ~~紐を巻けるようになりたい、こまを回せるようになりたい、先生や友達より長く回したい、狭い台で回せるようになりたいなど具体的な目標をもって挑戦したり、繰り返ししたりしようとする。~~ 自ら決める・選ぶ

~~こまを回したい、こまが回るように紐を巻きたい、長く回したい、狭い台の上で回したい、逆さで回したいなど、具体的な目標をもって、巻き方や投げ方を見たり考えたり何度も挑戦したりしようとする。~~

② ~~紐が巻けるようになった、こまが回せるようになった、昨日より多く回った、先生や友達よりも長く回った、狭い台で回せるようになった、〇回回せるようになったなど、できるようになったことを嬉しく思う。~~ 自分に満足する
充実感を得る

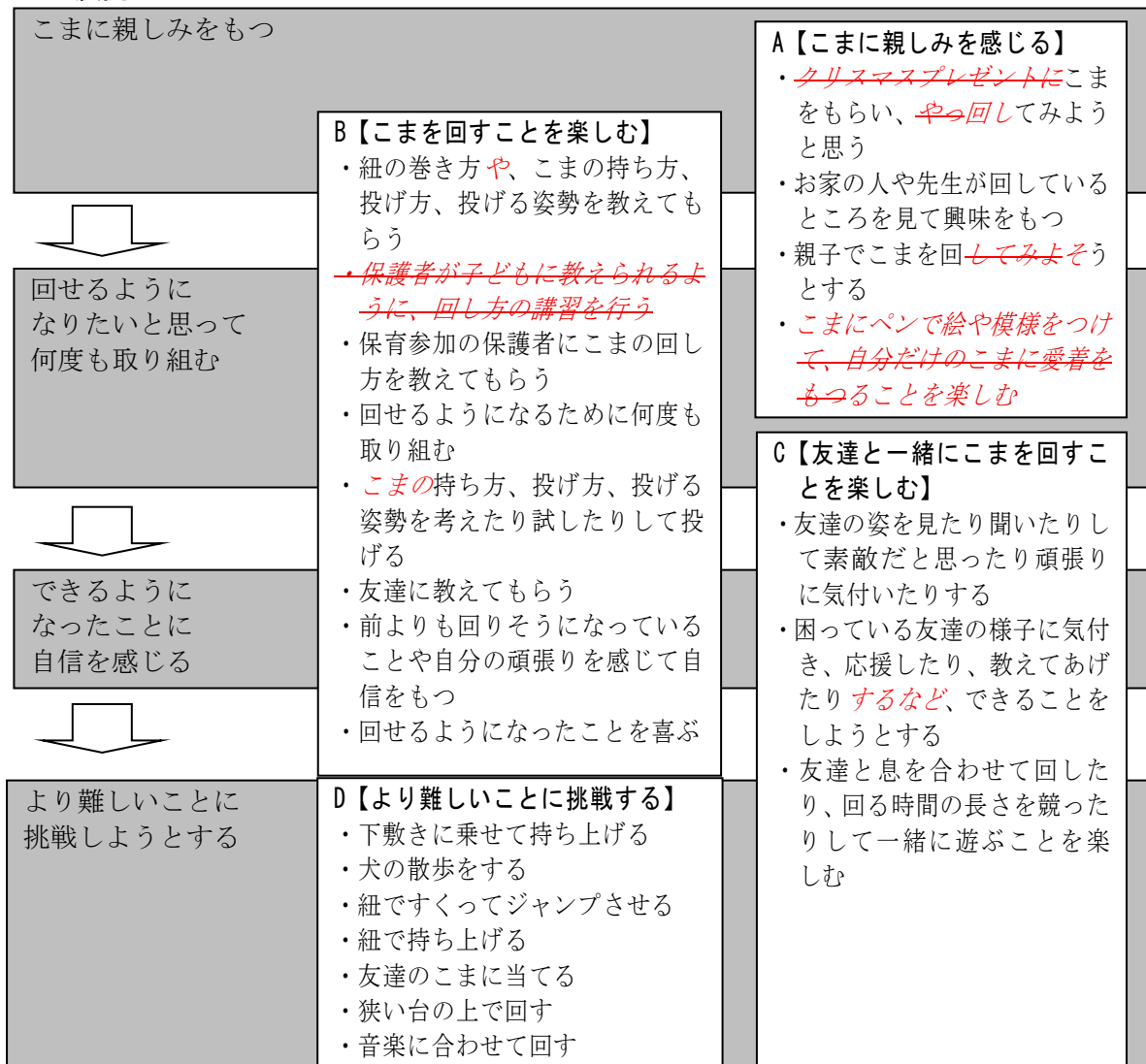
~~こまが回せるように紐が巻けた、こまを回せた、長く回せた、何回も回せ~~

- た、狭い台の上で回せたなど、できるようになってきたりできたりしたことを喜んだり、自分の頑張りを感じて充実した思いを感じたりする。
- ③ ~~以前はできなかったことができるようになったことを喜んだり、自分の頑張りを感じたりする。~~
 自分の状態に意識を向け、できるようになってきたり頑張ったり諦めるなどしたりしている自分に気付く。 自分を知ることを知る
- ④ ~~先生や友達、お家の人に回し方を教えてもらったり、応援してもらったりして嬉しく思ったり、こまが回ったことを一緒に喜んだり、どちらが長く回せるか勝負したりこまをぶつけ合ったりして一緒に遊ぶ楽しさを感じたりする。~~
 友達やお家の人と一緒に、こまの回り方や色を見て驚いたり、回せたことを喜んだり、どちらが長く回せるか勝負したり、仕方を教えたり教えてもらったりするなどして、一緒に遊ぶ楽しさや嬉しさを感じる。 他者との喜びを感じる
- ⑤ ~~紐の巻き方を優しく教えてくれた、投げ方をやってみせてくれた、困っていることを教えてくれたなど友達の優しさを感じたり、頑張って何度も練習する友達の頑張りを感じたり、上手にこまを回したり長く回したりする友達を見て素敵だと思ったりする。~~
 友達の頑張りや優しさ、得意なことを感じる。 他者のことを知る
- ⑥ ~~紐を巻くことができなかつたり、なかなか回らなかつたりして困っている友達に気付いて、紐を巻いて見せたり、こまの持ち方や投げ方、投げる姿勢を教えるあげたりしようとする。~~
 紐が上手く巻けない、こまが回らないなど、友達が困っている様子に気付いて、友達にとってよいと思うことをしてあげようとする。 他者のことを考えて行動する
- ⑦ ~~近くで友達がいると、こまが当たって危ないことを知って、周りを確かめたり、投げることを知らせたり、友達が離れるのを待たしてから投げようとする。~~
投げる先や近くに人がいるとこまが当たったり、床にこまを置くと踏んだりして危ないことに気付き、どうすると危なくないか先生やお家の人と一緒に考えて、危なくないようにしようとする。 身を守る
- ⑧ ~~こまの紐を巻く時の力を調節しながら指先で紐を巻く、足を肩幅ぐらいに開く、ひざを曲げて低い姿勢になる、腕を後ろに引いてこまを投げる、遠くに向けて投げるなどこまを投げる時の姿勢や体の使い方、動かし方、紐を巻いたりこまを投げたりする時の力加減などを見たり教えてもらったり自分で考えたりして、試そうとする。~~
 足を肩幅ぐらいに開く、ひざを曲げて低い姿勢になる、腕を後ろにひいてからこまを投げる、遠くに向けて投げるなど、こまを投げる時の姿勢や動き、力加減を、見たり体感したり考えたり試したりしようとする。 身体を操作する
 体の動きや感覚を磨く
- ⑨ ~~繰り返し紐を巻く中で、こまを力強くにぎる、始めは紐を強く引きながら巻き、少しずつ引く力を抜いていくなど、こまの紐を巻く時の力の入れ方や抜き方を感じ、コツをつかもうとする。~~
 繰り返し紐を巻く中で、こまを力強くにぎる、始めは紐を強く引きながら巻き、少しずつ引く力を抜いていくなど、こまの紐を巻く時の力の入れ方や抜き方を感じ、コツをつかもうとする。 体の動きや感覚を磨く
- ⑩ ~~こまは、止まる前に揺れが大きくなる、逆さ向きでも回る、紐は力を入れる過ぎると巻けないが、きつく巻くと長く回る、こまや板など、他のものにぶつかつたり擦れたりすると止まりやすい、こまが速く回っていると長く回るなど、こまの止まり方や回り方の特徴、紐の巻き方による動きの違いを感じ、その面白さや不思議さを感じる。~~
 こまは、回る速さが遅くなると揺れが大きくなつたり止まったりする、逆さ向きでも回るなど、こまの性質を感じ、その面白さや不思議さを感じる。 事物・現象をとらえる
 事物・現象を捉える
- ⑪ ~~こまを回すと、色や模様が変わることや速さが変わると様子が変わることを面白いと思ったり、驚いたり、不思議に思ったりして何度も試そうとする。~~
こまの様子に意識を向けて見たり、繰り返したり条件を変えたりして試し 事物・現象をとらえる
 事物・現象を捉える

たりして、こまが紐を巻いて投げると回ることや止まっている時の色や模様と違って見えること、速さが変わると色や模様の様子が変わること、紐をきつく巻くと回りやすくなること、ぶつかったりすれたりすると止まりやすいことなどに驚いたり、不思議に思ったりする。

- ⑫ こまの回る様子や止まりそうな様子を見て、回る速さの違いや回っている時間の長さの違い、どちらが長く回るかを感じる。
こまが回った数を数えたり合わせたり比べたりして、数を捉えたり多少を感じたりする。
数・量をとらえる
数・量や形、空間を捉える
比較する
- ⑬ こまの回る速さや長さ、その違いを感じる。
数・量や形、空間を捉える
- ⑭ 友達や板を見て離れたたり近付いたりして、友達や板までの距離を感じる。
数・量や形、空間を捉える
- ⑮ こま回しをしやすい場所を考えてこまの板を置いたり、動かしたり増やしたりする。
存分にこま回しができるように、板を増やしたり、板を置く場所を考えて置いたり位置を変えたり、空いている板に移ったりしようとする。
住空間を整える
場や状況を整える
- ⑯ こまに好きな色や模様をつけたり、絵を描いたりすることを楽しむ。
造形に表す
色や形に表す

4. 展開



A【こまに親しみを感じる】		
<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスプレゼントにこまをもらって、回してみようと思う ・保護者や教師が回しているところを見る ・お家の人や先生が回しているところを見て興味をもつ ・親子でこまを回そうとする ・こまにペンで絵や模様を付けることを楽しむ 	<p>◎自分のこまと紐に愛着をもって大切にしようとする。④</p> <p>○お家の人や先生がこまを回す様子を見て、自分も回してみたいと思う。①</p> <p>○こまに好きな色や模様をつけたり、絵を描いたりすることを楽しむ。④⑬⑯</p>	<p>*自分だけのこまを大切にできるように、絵や模様を付けられるようなこまを一つは渡す。</p> <p>◎自分だけのこまに愛着を感じられるように、子どもの作ったこまの素敵なところを褒めたり、周りの友達に知らせたりする。</p> <p>◎こま回しをすることに興味をもってやってみようと思えるように、お家の人や先生がこまを回しているのを見たり、家でお家の人と一緒に回したりすることができるように一人に2つ以上のこまを渡す。</p> <p>◎こま回しを楽しそうだと思ったり、自分も回せるようになりたいと思ったりするように、こまを回して見せたり、誘ったりする。</p> <p>◎色をつけたこまが回るイメージをもてるように、色をつけたこまを回して見せる。</p> <p>*自分で好きな色や模様を付けられるように、ペンを用意しておく。</p>

B【こまを回すことを楽しむ】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・紐の巻き方、やこまの持ち方、投げ方、投げる姿勢を教えてもらう ・保育参加の保護者にこまの回し方を教えてもらう ・回せるようになるために何でも取り組む ・こまの持ち方、投げ方、投げる姿勢を考えたり試したりして投げる ・友達に教えてもらう ・前よりも回りそうになっていることや自分の頑張りを感じて自信をもつ ・回せるようになったことを喜ぶ 	<p>○こまを回せるようになりたい、こまが回るように紐を巻きたいと目標をもって巻き方や投げ方を見たり考えたり繰り返し回そうと何度も挑戦したりする①</p> <p>○先生や友達、お家の人に回し方を教えてもらったり、応援してもらったりするして嬉しさを感じる④</p> <p>○紐の巻き方やこまを投げる時の姿勢や体の使い方、動かし方、力加減足を肩幅ぐらいに開く、ひざを曲げて低い姿勢になる、腕を後ろにひいてか</p>	<p>*こま回しに集中して取り組めるように、中央テラスにこまの板を置く。</p> <p>◎こま回しに関心を寄せて挑戦できるように、お家の人や先生が教えに来てくれていることや挑戦している友達の姿を紹介する。</p> <p>*いつでも手にとってこまを回せるように、こまの板を保育室やテラスに用意したり、いろいろなこまを置いておいたりする。</p> <p>◎繰り返し回せるように十分な時間をとる。</p> <p>◎具体的な目標に向けて何度も挑戦しようと思えるように、紐を巻いたりこまを回したりして見せたり、頑張りや上達、目標に向かう姿勢を具体的に言葉にして励ましたりする。</p> <p>◎お家の人や友達と一緒にこまを回す楽しさ遊ぶ嬉しさを感じられるように、お家の人や先生がいつでも教えてくれることを伝えておいたり頑張っているところを応援したり、上手くいったことを一緒に喜んでたりする。教え合うきっかけを作って、嬉しさを共に感じ、表情や態度、言葉に表す。</p> <p>◎紐の巻き方やこまを投げる時の姿勢や体の使い方、力加減のコツを感じたり掴んだりしてこまを回せるように、手を添えて一緒に紐を巻いたり、こまを投げたり、コツを言葉にしながらか紐を巻いたりこまを回して見せたりする。</p>

らこまを投げる、遠くに
向けて投げるなど、こま
を投げる時の姿勢や動
き、力加減を、~~を~~見たり
体感したり考えたり試し
たりする⑧

○繰り返し紐を巻く中で、
こまを力強くにぎる、始
めは紐を強く引きながら
巻き、少しずつ引く力を
抜いていくなど、こまの
紐を巻くときの力の入れ
方や抜き方を感じ、コツ
をつかもうとする⑨

○何度も挑戦することで
できるようになったことを
喜んだり、挑戦して良か
ったと思ったりする

こまが回せるように紐が
巻けた、こまを回せた、
長く回せた、何回も回せ
た、狭い台の上で回せた
など、できるようになっ
てきたりできたりしたこ
とを喜んだり、自分の頑
張りを感じて充実した思
いを感じたりする②

○以前の自分と比べてで
きようになったことや自
分の頑張りを感じて自信
をもつ

自分の状態に意識を向
け、できるようになっ
てきたり、頑張ったり、諦
めるなどしたりしている
自分に気付く③

○近くで友達がいると、こ
まが当たって危ないこと
を知って、周りを確かめ
たり、こまの板を置く場
所を考えて置いたり、投
げることが知らせたり、
友達が離れるのを待た
りしてから投げようとし
る

投げる先や近くに人がい
るとこまが当たったり、
床にこまを置くと踏んだ
りして危ないことに気付
き、どうすると危なくな
いか先生やお家の人と一
緒に考えて、危なくない
ようにしようとする⑦

○こまの止まり方や回り方
の特徴、紐の巻き方によ
る動きの違いを感じ、そ
の面白さや不思議さを感じ
る⑩

こまを投げる時の姿勢や動き、力加減を
見たり、体で感じたり考えたり、試し
たりできるように、解説しながらやっ
て見せたり、手を添えて一緒にしたり、友達
の姿勢や動きを解説しながら一緒に見
たりする。

◎こまの紐を引くときの力加減を感じ、コ
ツをつかんでいけるように、力加減を言
葉にしながら紐を巻いて見せたり、巻く
最中の紐に触れる機会を作ったり、力加
減を解説しながら手を添えて一緒に巻い
たりする。

◎自分の頑張りを感じて自信がもてるよう
に、教師が見取ったこれまでの頑張りを
具体的に言葉にして褒めたり、できるよ
うになったことを一緒に喜んだりする。

◎できるようになってきたりできたりした
喜びを感じられるように、上達してきて
いることを具体的な言葉にしたり、上達、
達成したことを一緒になって喜んだりす
る。

◎自分の頑張りを感じて充実した思いを感
じられるように、これまでの頑張りを具
体的に言葉にしたり、それを見て感じて
いたことを伝えたりする。

◎以前の自分と比べられるように、前と違
うところは何か尋ねたり、教師が感じた
違いを言葉にしてそのきっかけを与え
たりする。

自分の状態に意識を向けて気付けるよう
に、客観的に見て感じた前の状態や今の
状態、頑張りを言葉にする。

◎こまを投げる時には、友達に当たらない
場所に動いたり、投げる前に周りを確か
めたりできるように、友達に当たりそう
ではないか尋ねたり、自ら気付かないで
いれば具体的にどう危ないのかを知らせ
たりする。

どうすると危なくないか先生やお家の人
と一緒に考えて危なくないようにしよう
とするように、危ないことになっていな
いか尋ねたり、危ないと感じる状況でそ
の理由を知らせたり、どうすると危なく
ないかをよい方法がないか尋ねたり、危
なくない方法を理由と共に知らせて提案
したりして一緒に考える。

◎こまの止まり方や回り方、紐の巻き方に
注目できるように、こまの様子を言葉に
しながら注目する姿を見せたり、巻き方
と回っている様子を結び付けて言葉にし
たり、その面白さや不思議さに共感した

○こまは、回る速さが遅くなると揺れが大きくなったり止まったりする、逆さ向きでも回るなど、こまの性質を感じて、その面白さや不思議さを感じる⑩

~~こまを回すと、色や模様が変わることや速さが変わると様子が変わること~~を面白いと思ったり、驚いたり、不思議に思ったりして何度も試そうとする

○こまの様子に意識を向けて見たり、繰り返したり条件を変えたりして試したりして、こまが紐を巻いて投げると回ることや止まっている時の色と違って見えること、速さが変わると色の模様や様子が変わること、紐をきつく巻くと回りやすくなること、ぶつかったり擦れたりすると止まりやすいことなどに驚いたり、不思議に思ったりする⑪

○友達やお家の人と一緒に、こまの回り方や色を見て驚いたり、回せたことを喜んだりする楽しさや嬉しさを感じる。④

○こまが回った数を数えたり合わせたり比べたりして、数を捉えたり多少を感じたりする⑫

○こまの回る様子や止まりそうな様子を見て、回る速さの違いや回っている時間の長さの違い、どちらが長く回るかなどを感じる⑬⑭

○友達や板を見て離れたたり近付いたりして、友達や

~~りする。~~

~~○こまが回る速さと長さを結び付けて比べられるように、どちらが長く回りそうか、そう思うのはなぜか尋ねる。~~

○こまの性質を感じてその面白さや不思議さを感じられるように、一緒にこまの様子に注目したり、子どもの感じたことを受け止めたり、見るポイントをつぶやいたりする。

~~○回っているこまの様子に注目できるように、回っているこまをじっと見つめる姿を見せたり、色や模様の様子を面白がったり不思議がったり驚いたりする。~~

~~○回る速さが変わると様子が変わること~~を感じられるように、~~回り始めから止まるまでの様子~~と一緒に見たり、~~変わりがないか~~尋ねたりする。

○こまの様子に意識が向けられるように、こまの様子から疑問を投げかけたり、様子の変化を言葉にしなが面白がって見たりする。

○繰り返したり条件を変えたりして試したりしてこまの様子の変化に驚いたり不思議に思ったりするように、こまの様子が変わる状況を何度も作ったり、巻き方や投げ方など変える条件を提案したり、回る時の色や模様を見ながら驚いたり、様子の変化に期待する言葉をかけたりする。

○一緒に遊ぶ楽しさや嬉しさを感じられるように、一緒に回すことを誘ったり、回っているこまを見たりして、楽しさや嬉しさを共に感じ、表情や態度、言葉に表す。

○回った数を捉えたり多少を感じたりするように、数えたり数を合わせたり比べたりし始めることできっかけを作ったり、数を尋ねたりする。

*時間の長さを感じたり比べたりするよう、ストップウォッチをいつでも取れるところに準備しておく。

~~○回る速さの違いや、回っている時間の違いを感じられるように、スピードが遅くなってきたことを言葉にして知らせたり、回っている時間の長さを一緒に数えたりする。~~

○こまの回る速さや長さ、その違いを感じられるように、こまの模様や揺れ加減を言葉にしなが見たりスピードの変化を尋ねたり、回っている時間を同じテンポで数えたりする。

○友達や板との距離を考えられるように、友達との距離が近いことを知らせたり、

	<p>板までの距離を感じる⑭</p> <p>○こま回しをしやすい場所を考えてこまの板を置こうとする⑬ 存分にこま回しができるように、板を増やしたり、板を置く場所を考えて置いたり位置を変えたり、空いている板に移ったりしようとする⑮</p>	<p>板を見て立つ場所を変えてこまを回す姿を見せたりする。</p> <p>*こま回しをしやすい状況を考えて整えられるように、十分な板の枚数をすぐに取り出しやすいところに置いておく。</p> <p>◎こま回しをしやすい場所を考えてこまの板を置いたり動かしたり増やしたりしていけるように、回しにくそうな状況を言葉にしたりどこに置くとこま回しがしやすいかたずねたり、置いている場所の教師が感じたこま回しをする上でのよさを言葉にしてよく考えていることを褒めたりする。</p> <p>◎遊びの場や状況に意識を向けて遊びやすくしようとするように、場や状況による遊びにくさはないか尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか尋ねたり一緒に考えたりする。</p>
--	---	--

C【友達と一緒にこまを回すことを楽しむ】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・友達の姿を見たり聞いたりしてすごいと思ったり頑張りに気付いたりする ・困っている友達の様子に気付き、応援したり、教えてあげたりするなど、できることをしようとする ・友達と息を合わせて回したり、回る時間の長さを競ったりして一緒に遊ぶことを楽しむ 	<p>○頑張って何度も練習する友達の頑張りを感じたり、上手にこまを回したり長く回したりする友達を見て素敵だと思う友達の様子を見て、何度も挑戦する友達の頑張りや得意なことを感じる⑤</p> <p>○紐が上手く巻けない、こまが回らないなど、友達が困っている様子に気付いて、やり方を教えようとする友達にとってよいと思うことをしてあげようとする⑥</p> <p>○友達にこまの持ち方や投げ方、投げる姿勢などを教えてもらって優しさを感じる⑤</p> <p>○友達とどちらが長く回せるか勝負したり、こまをぶつけ合ったりして、一緒に遊ぶ楽しさや嬉しさを感じる④</p>	<p>◎頑張って何度も練習する友達の頑張りやこまを回したり長く回したりする友達のことに気付けるように、挑戦している姿をとらえて頑張りを言葉にしたり、紹介する場や見せ合う時間をとったりする。友達の頑張りや得意なことを感じられるように、友達の真剣に取り組む様子や力を発揮している様子を言葉にする。</p> <p>◎困っている友達を見て教えようと思えるように、困っている友達の様子を知らせたり、教えている姿を褒めたり、教えてもらったおかげで上手いきようなことを伝えたりする。友達にとってよいと思うことをしようとするように、友達が困っている様子を知らせたり、教えてあげてることを提案したり、していることの友達にとっての意味を知らせたりする。</p> <p>◎友達の優しさを感じられるように、教えてもらった喜びに共感したり、友達の優しさを一緒に感じて言葉にしたりする。人を気にかけてくれている様子を言葉にする。</p> <p>◎友達同士で集まってこま勝負をしようと思えるように、回っている長さに驚いたり褒めたり、教師が勝負に挑んだりする。一緒に遊ぶ楽しさや嬉しさを感じられるように、一緒に回すことを誘ったり、勝負に誘ったりして楽しさや嬉しさを共に感じ、表情や態度、言葉に表す。</p>

D【より難しいことに挑戦する】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・下敷きに乗せ 	<p>○長く回したい、狭い台で</p>	<p>*より難しいことや面白いことに挑戦して</p>

<p>て持ち上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の散歩をする ・紐ですくってジャンプさせる ・紐で持ち上げる ・友達のこまに当てる ・狙った場所で回す ・狭い台の上で回す ・音楽に合わせて回す ・発表会で保護者や友達に見てもらふ 	<p>回したい、逆さで回したい、いろいろな技ができるようになりたいなど具体的な目標をもって挑戦したり、繰り返したりする①</p> <p>○友達の様子を見て、いろいろな技に挑戦する友達の頑張りや得意なことを素敵だと思ふ感じる④⑤</p> <p>○より難しいことに挑戦したり、できるようになったりしたことに自信をもつ充実した思ふを感じる②</p>	<p>みようと感じられるように、いろいろな技が載っているこまの本を掲示をしたり、下敷きや狭い台などを用意したりする。</p> <p>◎こまが回せるようになっても少し難しいことにも挑戦し続けられるように、いろいろな技をやってみせたり、友達がしている様子を写真に撮って掲示したりする。具体的な目標に向けて何度も挑戦しようと思えるように、頑張りや上達、目標に向かう姿勢を具体的に言葉にして励ましたり、技をやってみせたり、こま回し競争に誘ったりする。</p> <p>◎狭い台で回したり紐に乗せたりしようとする友達の様子に気付けるように、挑戦する姿を知らせたり、これまでの頑張りを言葉にしたりする。友達の頑張りや得意なことを感じられるように、友達の真剣に取り組む様子や力を発揮している様子を言葉にする。</p> <p>◎できるようになったことや挑戦したことに自信充実した思ふを感じられるように、頑張りを具体的に言葉にして褒めたり、友達や保護者に見てもらふ機会を設けたりする。これまでの頑張りを具体的に言葉にしたり、それを見ていて感じたことを伝えたりする。</p>
---	---	--